



宮内熊野大社の 参宮

東北の伊勢、熊野大社は慈覚大師自作の観音像を蔵し、大同元年（八〇六）に平城天皇の勅命により建立されたと伝えられ、毎年一月から三月にかけて奉奏される大々神楽は伊勢皇大神宮直伝の御神楽で、日本三熊野の一つとして、諸願成就を願ひ、県内外からの参宮者で賑わっています。夏には行衣を着けた行者によって天下の奇祭 天奉載（ボンデンバヨイ）が行われます。入口には後三年の役戦勝御礼詣りの記念木の巨大な大銀杏があり、数々の文化財が考古館に陳列されており、観覧することが出来ます。

七月二十四日、二十五日

大 祭

南陽支部広報部長

栗野 幾夫



— 発行所 —
山 形 県 理 容 合
山 形 市 相生町 8 / 51
郵便番号 9 9 0
電 話 022 0217 番 40
振替貯金口座 山形 1366
発行者 富樫 富太郎
編集者 保坂 菊治
購読料 1部10円 毎月1回発行

三月の行事

- 二日（月）
 - ・専修講習会 トータルアイアニング（応用）
 - 鹿野恭司（山形） 修了式
- 四日（水）
 - ・野球部委員会
 - ・相談員研修会（山形保健所）
- 五日（木）
 - ・全理連理事会
- 六日（金）
 - ・全理連評議員会総会
- 九日（月）
 - ・第二回教育部長会（午後二時）
 - ・大学科講習会 Qフォーマルヘア・テクニク
 - 永田講師 ・村山ブロック講習会研修会

十日（火）

- ・融資審査会

十五日（日）

- 理容まつり当選者飯坂旅行 家庭の日

十六日（月）
二十三日（月）
三十日（月）

米沢支部総会
長井支部総会
南陽支部総会（於山形県理容会館）

三月のこよみ

- 一日（月）
 - 全国緑化運動
- 三日（火）
 - ひな祭 耳の日
- 六日（金）
 - 啓ちつ 皇后誕生日
- 七日（土）
 - 消防記念日
- 八日（日）
 - 国際婦人デー
- 十五日（日）
 - 家庭の日
- 十七日（火）
 - 安丹かぐら（鶴岡市）
- 十八日（水）
 - 彼岸入り
- 二十一日（土）
 - 春分の日
- 二十二日（日）
 - NHK放送記念日、復活祭
- 二十三日（月）
 - 世界気象記念日
- 二十四日（火）
 - 彼岸明け
- 二十五日（水）
 - 電気記念日

第一回チャリティー クリスマスパーティー

山形県「謝恩理容まつり」の最中、米沢支部川西地区では去る12月21日(第三日曜日)、川西地区理容組合主催、川西バンドクラブ「ゆきだるま」川西町芸術文化協会後援による第一回チャリティークリスマスパーティーが盛況なセレモニの中に取り行なわれた。小舞の舞いしる午後一時、川西町中央公民館大ホールには組合員の家族や一般客、そ

れに米沢、長井、南陽の置賜各支部の方々がぞくぞく集まり、楽しい雰囲気と友好の輪の中、166名の参加のもとに盛大に行なわれた。セレモニーは川西町の代表する80ミスダリヤの橋本礼子さん、準ミスダリヤの本間さんと黒沢さんの三人が、聖霊のもとに洗礼を受け、白衣の神子と成って、

乾杯の音頭から始まり、川西バンドクラブ「ゆきだるま」の迫力ある生バンド演奏と白熱したダンスコーナーで、チャリティークリスマスパーティーも最高潮に達した。子供ゲーム大会や、そして、YBC(山形放送)の協力による芸能界の有名なサイン入り色紙のオークションと、80ミスダリヤのチャリティー募金活動による募金総額二金二万三千七百二十六円也は、川西町芸術文化協会を通じて社会福祉協議会に贈られました。不断から謙虚で信頼出来る組織部の仲間達が企画立案し、互いに理解し励まし合って、実行するに際して、真剣になって実働した成果であると考えます。

す。米沢支部川西地区も「組織の強化」と「組合事業の充実」を目標とし、各支部の組織部を通じての交流を促進して行きたいと考えます。今後各支部の御協力を御願ひ致します。

米沢支部川西地区組織部のスローガンは「大きく広げよう心の瞳、はばたけ我らの仲間達、未来の栄光は大きな組織の輪だ!!」

川西地区組織部長

菅野 一則

理容会館設立

丁度十年前位に、役員の末席にいますとき、それより以前に、しばしば理容会館の設立論議があったと聞きおよんでおりました。その当時、故、柴崎会長、吉岡副会長に、個人的な話の中で「何も自分達の土地があるんだから、そこに建てたらいいと思う」との事を申し上げたのを、ふと、思い出し新会館竣工を聞くに及び何か「ホッ」とした様な気持ちさえ起こせられました。

新年五日の事務所仕事始めにお伺いし、初春の花を活け



その後、川西地区長、原田健吾氏の歓迎の挨拶、米沢支部副支部長、磯貝利夫氏の

させていただき、明かるく機能的な会館を拝見した時、私達の家が建った様な気分さえ感じられました。又今までもこの設立をまたず、業をおやめになった多くの組合員もおられた事と存じますが、こうした人達の投資の心も現組合員として忘れられない感謝をいたさねばならないと思えます。そして、富樫理事長と共に役員方々の、さまざまの苦勞の賜と存じ上げ、これからも先導者として、健康で益々の業界発展の為に、常にご決断の勇を發揮していただきたく組合員の一人として心よりお願い申し上げます。

・初花の木の香もただよう会館に
心たのしく活けにけるかな
山形支部 浦山富士子

山形県理容会館を

見学して

酒田支部北部地区

齊藤 朝子

一月十八日(日) 晴れ、酒

田支部北部地区役員六名(二名欠席)は酒田駅発八時三十分の月山四号に身をまかせ、十二日竣工を終えたばかりの山形県理容会館見学と意気込みました。

毎日を屋根の下で過ごす私達は二時間余りの旅に忘れかけていた乙女ころろがちらつき、汽車の窓から見える大雪に、見たことのないものを見たような歓声を上げ、隣の席からの少々色の濃いお茶の差入れに身心共に酔いしれての弥次喜多道中の旅立ちでした。汽車は少し遅れて山形駅に着き、二台のタクシーに分乗し、前の車に従いました。しばらく走ると頼りの車がうろつき始め、あっちこち行き交う人に、ねながら走り廻り、しまいには車を降りて歩くこととタクシーに乗った距離より長かったようです。完成してまだ間もない建物なので街の人はもちろん、タクシーの運転手さえ知らなかったようです。場所を捜すのは郵便配達員に聞くのが一番早道のように思いました。

弥次喜多一行やっとの思いでたどりつきました。

昭和三十六年買収したとの用地に二十年間、各理事長さん初め、理事さん、地区長さん、その他組合員全員の力で築き上げた念願の会館がどしりと腰を据えておりました。玄関には山形県理容会館と金文字で書かれており、その傍には初代青柳理事長の胸像が立っておりました。

初代理事長が校長先生をさされていた二十余年前の理容学校時代の思い出が一瞬脳裏をかすめ、通り過ぎて行きました。思えば山形の土を踏むのもあれ以来初めてのようです。内へ入るとすぐに大きな姿見、理容師たるもの常に容姿を整えてといった所でしょうか、感じのいいものでした。

一階は手前が事務室、次に来賓室があり理事長さんの机がでんと構えていました。私達はさっそく主のない椅子を拝借し記念撮影「はい、チーズ」理事長さん、ゴメンナサイ、そして青い畳の和室が二間、理事長さんの年頭のごあいさつにもありましたように遠来の組合員がゆっくりくつろげる部屋、そのものでした。二階は八〇名収容というか

なり広い大ホールがあり、各理事長さんの写真が飾られてありました。その隣には近代理容椅子、前洗面設備がありホールで講習会等行う場合利用するのかなと見て来ました。一階二階共、水洗トイレが設けられ各室冷暖房完備と近代設備の行きとどいた建物でした。

あのような立派な会館を前にして理事長さん、皆々様に感謝すると共に山形県の組合員全員の心が一つになり、一つのを完成させたというすばらしい現実を何よりうれしく実感し、最高の気分で帰路につきました。

会館は私達組合員全員の家です。「百聞は一見にしかず」まずは総会、講習会等企画し、全員で訪れる機会を作ってはいかがでしょうか。そして執行部の皆様には組合運営のための議会の場所として常々利用され組合員のため理容業界発展のため増々御活躍下さいますようお願い申し上げます。何のお役にも立ちませんでしたが、雪の消えた春

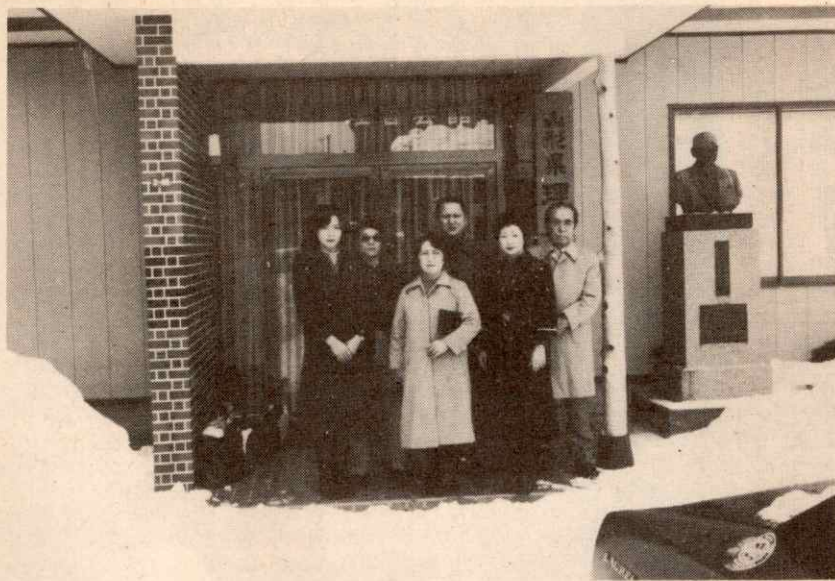
の玄関先に緑の木々の生い茂げますことを要望し(計画中かと思いますが)これにて弥次喜多道中の旅を終えさせていただきます。あつ、そうそう、その夜は天童温泉滝の湯ホテルに一泊です。

酒田支部北部地区の宴会模様を御想像下さいませ。

一行は阿部 埋市
菅 原 三 男
齊 藤 幸 男
渡 部 和 子
阿 部 文
齊 藤 朝 子
の六名でした。

鶴岡支部通信便より

昭和五十六年度鏡会の新年会が一月十九日午後十二時より、鶴岡市道形のサンドリヤで開かれました。多数の方が参加されました。当番司会佐藤善三郎氏の司会ではじまり会長五十嵐誠一氏の音頭で鶴岡支部の皆さんの発展と一同の健康を祈って乾杯を行ないました。みんな和気合々と飲み且つ食べながらの中で、会長が山形に行ってきた時のお



話、埋容会館の事、其他を皆さんにわかりやすく報告致しました。会員の方より埋容祭の今後のありかた等のお話しも出ました。会場も仲々新しくきれいでしたので、みんな、なごやかに一日を無事終了しました。当番の方御苦労様でした。

鶴岡支部広報部長

宇佐美 豊太郎

◎ 所得税の確定申告は

二月十六日から

仙台国税局・税務署

(例一)

所得税の確定申告の時期がやって来ました。

申告期限間近になりますと税務署は大変混雑します。

申告と納税は、二月十六日から三月十六日までですが、税金の還付申告は一月から受付けています。

お早めにどうぞ!!

(例二)

男 「確定申告の時期がやって来たね」

女 「昨年は、期限間近に税務署へ行ったら大混雑。落ち着いて相談もできなかったわ」

男 「余り深刻(申告)に考えないで、早目に行って核心(確申)に迫らなくちゃ」

女 「そうねえ、確定申告の受付は二月十六日から始まっているんだから」

長井支部で第一回

「卓球大会」を開催

急変する業界にあって息の合う支部像を確立、親睦を深める一環として、去る二月二日、近年にない豪雪の中で、長井支部婦人部、青年部共催で、第一回、「卓球大会」が長井市勤労センター体育館、特設卓球場で卓球台四基をフル活用して開かれた。

当日は天気も小休止の状態、参加者も50余名、勿論、小川支部長を含む役員と婦人部、青年部、男女半々のプレイヤーが集まり、男女混合の個人戦、各区対抗の団体戦に日頃のストレスを解消したら、鉄持っ手にラケットを持ち、小さな白球にまどわされ下らも、終始大熱戦を展開した。

若い頃、それも学生の頃からラケットを持った事のない人、急に出場を余儀なくされ、初めて卓球をする人、オーストックスな攻撃型、しっかり家計を守る様な守勢一本の型、身体がラケットについていないで悲鳴を上げている人、それぞれ十人十色の特色ある試合の中で、特に夫婦で対戦して妻に敗れて落胆の憂き目を味わい、団体戦に望みをかけている姿等々。他の集まりと違った雰囲気の中で和気相々、親睦の環の広さをまざまざと感じさせられた。午後三時全部終了したところで、小川支部長杯として輝ける大トロフィーが優賞者に直接手渡され拍手の渦を招いた。二位以下全参加者にもいろいろな賞品が贈られた。

結果は

・個人優賞 手塚キヨ子さん (萩生地区)

・団体優賞 一区(萩生)

珍プレー続出に体育館の歓声の連続で長井支部の団結が更に一層かたい絆で結ばれた。様な楽しく有意義な一日でした。

千変万化、一日一秒の余裕すらない業界の変遷の中で今後の支部活動に一脈の暖かい活路を見い出したものである。

長井支部広報部 鈴木孝知

